



# がん対策推進企業アクション 女性のがん対策活動

## “Working RIBBON (W RIBBON) ”

### 「乳がん・子宮頸がん検診80%チャレンジ」

Working RIBBONオフィシャルサポーターによる  
2023年度 優良企業インタビュー Vol.3

### 株式会社フジタ建設コンサルタント（徳島県）

『“会社の健康は社員の健康から” トップの言葉から考える  
「健康経営」と「両立支援」とは』



#### ■ 事業内容

- ・ 建設コンサルタント業
- ・ 生活に必要不可欠な社会インフラを整備するため、計画・調査・設計・施工管理・維持管理などの各段階において、国や県・市町村のパートナーとして、技術的な支援を行う。

#### ■ 企業概要

- ・ 女性社員29名(28%)
- ・ 2021年の乳がん検診受診率：100%
- ・ 2021年の子宮頸がん検診受診率：100%

コーポレートサイト：<https://fujitacc.co.jp/>

■がん対策推進担当者  
株式会社フジタ建設コンサルタント  
管理部 三木 朋子様  
高橋 亜緒生様

■インタビュアー  
(がん対策推進企業アクション  
Working RIBBONオフィシャルサポーター)  
株式会社ルネサンス  
取締役副社長執行役員 望月 美佐緒様  
西畑 卓様



▲取材の様子

左上：株式会社フジタ建設コンサルタント様  
右上：株式会社ルネサンス望月様  
中央下：株式会社ルネサンス西畑様

■取り組みインタビュー

オフィシャルサポーター 望月様  
(以下望月様)

御社の取り組みを拝見させていただき、まず素晴らしいなと思いましたが、乳がんの受診率100%、子宮頸がんの受診率100%という数字です。「乳がん・子宮頸がん診受診率80%チャレンジ」にも応募されていますね。なかなかこの成績を上げられた企業様はないと事務局からもお伺いしています。ここに取り組みまれたきっかけを改めて教えていただきたいです。

株式会社フジタ建設コンサルタント  
三木様 (以下三木様)

わが社のモットーが「会社の健康は社員の健康から」ということより、「社員のがん検診は個人に任せるだけでなく、社員の健康を守る会社の責任として受診を推進していくべきではないか」と考えたことがきっかけです。

望月様

ありがとうございます。事前の資料を拝見しましたが、三木さんのお母様ががんに罹患されたようですね。この辺りも差し支えなければおうかがいしたいです。

三木様

母が60代で子宮体がんになり、苦しい抗がん剤や放射線治療をしているところを見してきました。その母から「がん検診は毎年受けなあかんよ」と言われていたため、「これは自分のことだけでなく会社の健診担当者として、率先してがん検診を推進していこう」と思いました。



### 望月様

特に女性のがんって早期発見・早期治療で寛解できるということは、だんだんメディアでも発信されてきましたよね。

### 三木様

メディアのおかげで、がんは他人事ではないことや検診の重要性に気づくことで、女性社員の受診率が上がることは、本人のためにも会社のためにもなると思いました。

### 望月様

御社の女性の社員比率は大体3割弱とおうかがいしています。圧倒的に男性が多い社内で、「女性のがん対策」にフォーカスしていくのは難しかったのではと思いましたが、いかがでしょうか。

### 三木様

創立の頃から経営者が「会社の資本は社員。社員が健康でなかったら会社は健康ではない」という、社のモットーともなった考え方でしたので、健診受診は当たり前のことでしたし、健診時のオプション検査やがん検診、その他健康づくりにも積極的に取り組んでまいりました。特に女性のがんについては、早期発見の重要性がメディアで取り上げられるようになり、女性社員が少ないこともあって、受診推進の声かけがしやすい風土だったと思います。

### 望月様

素晴らしいです！！

### 三木様

がん検診を毎年受けてもらうために、「けんぽ協会のがん検診対象でない年は、市町村のクーポンを利用して受診してもらい、その費用を会社が全額負担する」という工夫をしました。

### 望月様

がん検診受診率アップのコツは何でしょうか。

### 三木様

女性社員には「女性のがんは検診でないと見つかりにくいし、早期発見することで完治する可能性が高い。痛みはあっても、検診は自分のためだけでなく家族のためでもあるからね」と伝えました。女性は人数も少ないですし、みんな家族や友達のような関係なので、「検診受けてね」と気軽に声かけができる雰囲気があったのが一番よかったと思います。

### 望月様

高橋さんは三木さんの行動を見て、何か感じられたこと、思われたことなどありますか。

### フジタ建設コンサルタント 高橋様

健診時には、みんながオプション検査やがん検診をするのが当たり前だったため、中途採用で入った当初はびっくりしました。三木さんと一緒に仕事をしていると、いつも社員や会社のためということを考えてらっしゃることを感じます。三木さんの今までの行動があったからこそ、100%という検診受診率に繋がっているんだと思います。



### 望月様

御社のホームページを拝見しましたが、がん検診だけではなく子育てや介護、また治療と仕事の両立支援などにも力を入れていらっしゃいますね。経済産業省の健康経営優良法人認定制度「ブライツ500」も取得されていますし、やはり経営者の方々がもともとそうした意識が非常に強い企業ということなんですね。



▲打ち合わせの様子

### 三木様

検診や健康づくりについて「こんな工夫をしたら、もっと社員の健康に対する意識が高まって受診率が上がるかもしれません」と、上司や経営者に提案できる環境があります。

### 望月様

思いのある社員の方と、それを受け止められる経営者がいらっしゃるからこういう仕組みができるのですね。

### 三木様

社員同士もそうですし、経営者にもこちらからどんどん声をかけられる雰囲気があるというのが、弊社のような中小企業の強みだと思います。

### 望月様

このような推進活動の中、これまで罹患された方が見つかったことはあったのでしょうか。

### 三木様

男性社員でがんに罹患された方がいましたが、入院中に、病院・本人・会社が連携をとって、退院してから仕事に復帰するまでの「復職支援プラン」を作成し、スムーズに職場復帰できるように支援しました。今は完全に現職に復帰されています。

### 望月様

その「復職支援プログラム」についてお聞かせいただけますか。

### 三木様

まずこちらで社員の就労状況を詳しく書いた「勤務情報提供書」を入院している病院の両立支援担当のケアマネージャーや主治医に提出し、主治医からは「治療の状況や復職の可否及び復職に際する就労条件」の提供を受けました。それを基に社員が不安なく復職できるように「復職支援プラン」を作成しました。



社員はそのプランに従って無理することなく復職し、退院後の通院には、すでに制定してあった「治療等休暇制度」を利用してもらいました。

「治療等休暇制度」は、年次有給とは別に取得できる有給休暇制度で、この制度は術後の治療や診察のためだけでなく、妊娠中の体調不良や定期検診、また不妊治療にも使えるようにしています。「治療のために仕事を諦めない、仕事のために治療の機会を逃さない」というのが会社の願いです。周囲の理解により、休職中はすぐに他部署から代替要員を確保できたのもありがたかったです。

### 望月様

前述のような制度を作るため、「両立支援コーディネーター」という資格をご自身で取得されているようですが、ほかの情報は普段からどのようにして集めていらっしゃるのでしょうか。

### 三木様

「がん対策推進企業アクション」のメルマガを読んだり、健康に関する書籍を定期購読しています。その中で紹介されている他社様の取組事例などから、社内で取り入れられる取組はないかとアンテナを張っています。

### 望月様

やっぱりアンテナを張るっておっしゃってましたが、そこに対する意識は人によって全然違うんじゃないかと思います。

### 三木様

健康経営優良法人に認定されたことが、大きなきっかけだったと思います。2017年に四国で初めて認定されたことで、メディアにも大きく取り上げていただきました。それにより地域や他社からも注目していただき、社員の意識も変わったと思います。また社員のご家族からもよい評価をいただいたことで、これからは自分たちが情報を発信する側に回らなければいけないなと思っています。

### 望月様

更に社内向けの情報発信はグループウェアを使っていらっしゃるそうですが、具体的にはどのようなものでしょうか。

### 三木様

がんに関しては、がん対策推進企業アクションの中川先生の動画を毎月発信するようにしています。正確な情報や知識を得ることによって、「がんは怖くない、がん検診で早期発見することで早期治療、寛解へとつながられる。仕事は治療を受けながらも続けられる」ことを社員に知ってほしいと思っています。また、協会けんぽや産保センターのメルマガも、社員全員が閲覧できるフォルダに入れて誰もがいつでも読めるようにしておりますし、その他様々な健康に関する情報を「フジタ健康だより」として社員に共有しています。

### 株式会社ルネサンス 西畑様

私どものがん対策も少しご紹介させていただきます。例えば乳がんで治療に伴い、手術後、腕が動かしにくいことで日常生活に影響があったり、化学治療に伴う副作用で倦怠感を感じている方もいらっしゃいます。しかし、診療報酬における「がん患者ののリハビリテーション」は入院中との算定要件があり、退院後のリハビリテーションは認められていません。



## がん患者様を支援する取り組み

RENAISSANCE



◆所 在 大阪府大阪市中央区大手前  
大阪国際がんセンター  
患者交流棟3階

◆開 設 2019年6月3日

◆サービス **がん特化型運動支援施設**

- ・がんやがんの治療で生じた身体の不調や不具合の改善を目指す独自の運動プログラムの提供
- ・がんの知識を有し、大阪国際がんセンター リハビリテーション科より技術指導を受けた専門の運動指導員による指導



2020年8月1日より「がん特化型オンライン個別レッスン」もスタート  
施設に来れない全国のサバイバーの方に向けて、運動指導ができる環境を整備

◆特 徴 **がん（手術、放射線、抗がん剤など治療）の知識を有した専門のスタッフが運動指導を担当** ひとりよりの身体と不安な気持ちに寄り添ったサポート

### ▲ルネサンス様の取り組みについて

#### 西畑様

退院後に、健康課題の解決に必要な情報やサービスが行き届いていない課題に対して、大阪国際がんセンター様と一緒に、医療システムを補完する「切れ目のない運動支援」についての取り組みも行っております。

#### 望月様

今日、三木さんに教えていただいたことを当社の中でもやっていきたいなと改めて思いました。様々な取り組みをお聞かせいただきましたが、課題や改善点など、少し将来のことについてお話をおおうかがいできますでしょうか。

#### 三木様

扶養家族の方の受診率や社員の二次検査の受検率がまだ100%に至っていないため、今後力を入れていきたいと思っています。

#### 望月様

社員の方の二次受診率上げていくために、こんなことをやっていこうみたいなことは何かおありでしょうか。

#### 三木様

検診の時だけでなく、あいさつや声かけといった日頃からのコミュニケーションが大事だと思っています。普段の会話の中から、女性はもちろん、男性にも「二次検査を受けて何もなかったら安心ですし、それは自分の安心だけでなくご家族の安心、会社の安心にも繋がるんですよ」ということを伝えられたらいいなと思っています。

#### 望月様

やはり経営者との一体感っていうのもすごく重要だなとお話を聞いていて思いました。あとは声をかけること、人間関係の重要性もすごく大切だと思い、本当に勉強になりました。ありがとうございました。

#### ■がん対策推進企業アクションについて

ホームページ：<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/>

新規パートナー申請：<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/about/registration.html>

Working RIBBON：<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/workingribbon/index.html>

パートナー企業専用eラーニング：<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/elearning/index.html>